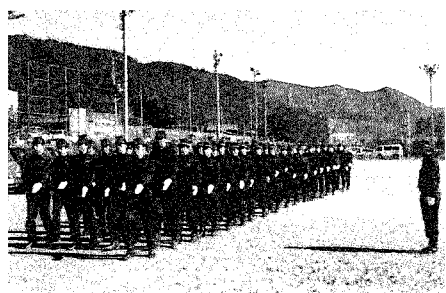
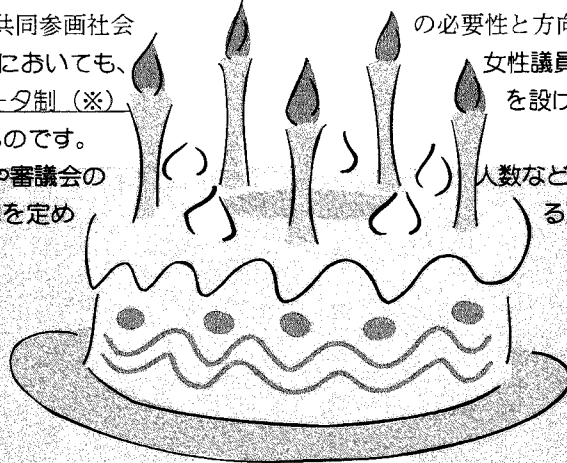


シリーズ 9
～男女共同参画社会実現に向けて～
「男女共同参画社会づくりに向けての全国議会」に参加して

去る9月24日、
総理府主催の男女共同参
画社会づくりに向けての全国会議
が東京厚生年金会館で開かれました。都留
市からも女性プランの推進委員と女性団体連絡協議
会のメンバー32人が出席しました。推進本部長である小
淵恵三内閣総理大臣の挨拶があるとのプログラムに、どんな話が
聞かれるかと期待していましたが、残念ながら欠席されてしまいました。
でも全国から集まった仲間たちの熱気が広い会場にあふれ、年々男性の参加者も
増えて、力強く思うとともに大いに刺激を受けてきました。
政府は男女共同参画審議会の答申を受け、『男女共同参画社会基本法』を制定することとして、
法案づくりに動き出しました。この法律が出来ると、性別による差別的な取り扱いがないよう責任の所在
が明らかにされてきますし、社会制度や慣行についても男女平等の視点に立って見直されることになります。国を
挙げての大きな流れを感じてきました。平成11年の全国会
議は是非この法律を掲げて開催してほしいものです。
こうした流れに呼応していく為にも女性自身が力をつけていかななくてはな
りませんね。自覚と責任を持って社会参画していくことです。女性とはかく女性同志
で足を引っ張り合う傾向があると言われてしています。女性同志が理解し合い、ともに認め合う努力
をしていくことが必要でしょう。そして常に意識して自分自身を解放していくことです。無理をせずに
各々のライフスタイルの中で実践していくことです。一人ひとりがその人らしい生き方が出来る社会の実現を
目指していきましょう。

全国会議のパネリストの一人であった大学教授のこんな発言が
耳に残りました。「日本は女性の大学教授の数が極端に少ない。家庭と
仕事の両立が出来ず、志し半ばで脱落して行く。でも仕事においては女である
ことの不利を感じたことはない」と現実の厳しさと、仕事への情熱と自信を語ってい
ました。正に男女共同参画社会
の必要性と方向性を明示していたよう
な気がしました。都留市においても、
女性議員の選出、協議会委員や審
議会委員に女性枠のクォータ制(※)
を設けるなど、男女共同参画社会への
確かな一歩を進めていきたいものです。
※クォータ制 選挙の立候補者や審議会の
人数などで、男性・女性のどちらにも偏ら
ないように比率を定め
る方法のこと。



見事な訓練礼式ですね



市民の
皆さん、火の取り
扱いには十分注意しま
しょう。
大会では、団長訓示のあと、服
装・機械器具点検、消防訓練礼式、
放水訓練など全団員が日ごろの訓
練の成果を発揮しました。
これからは空気が乾燥して、
火災が発生しやすい
季節となります。

「第二十三回都留市消防団員総
合訓練大会」が、都留第一中学校
グラウンドで行われました。
この訓練大会は、消防団員に必
要とされる厳正な規律と旺盛な消
防精神を養い、災害時の活動を迅
速・的確にすることを目的に開催
されています。

消防団員
総合訓練大会